

(写真) GANGA “ベネズエラの起業に関するアンケート調査と具体的な新興ビジネスの事例を紹介”

## ベネズエラの起業家活動

株式会社ベネインベストメント  
松浦 健太郎

**世** 界53カ国の起業環境について調査する「世界起業家グローバルモニター」は、2024年度の調査レポートを公開した。

ベネズエラについては急激な経済低迷を受けて、生活の不都合が生じており、その穴を埋めるべく起業が増えているとの指摘があるが、直近の調査ではベネズエラ人の起業意欲は低下しているようだ。

本稿ではベネズエラでの起業状況や、成功している新興ビジネスの事例について紹介してみたい。

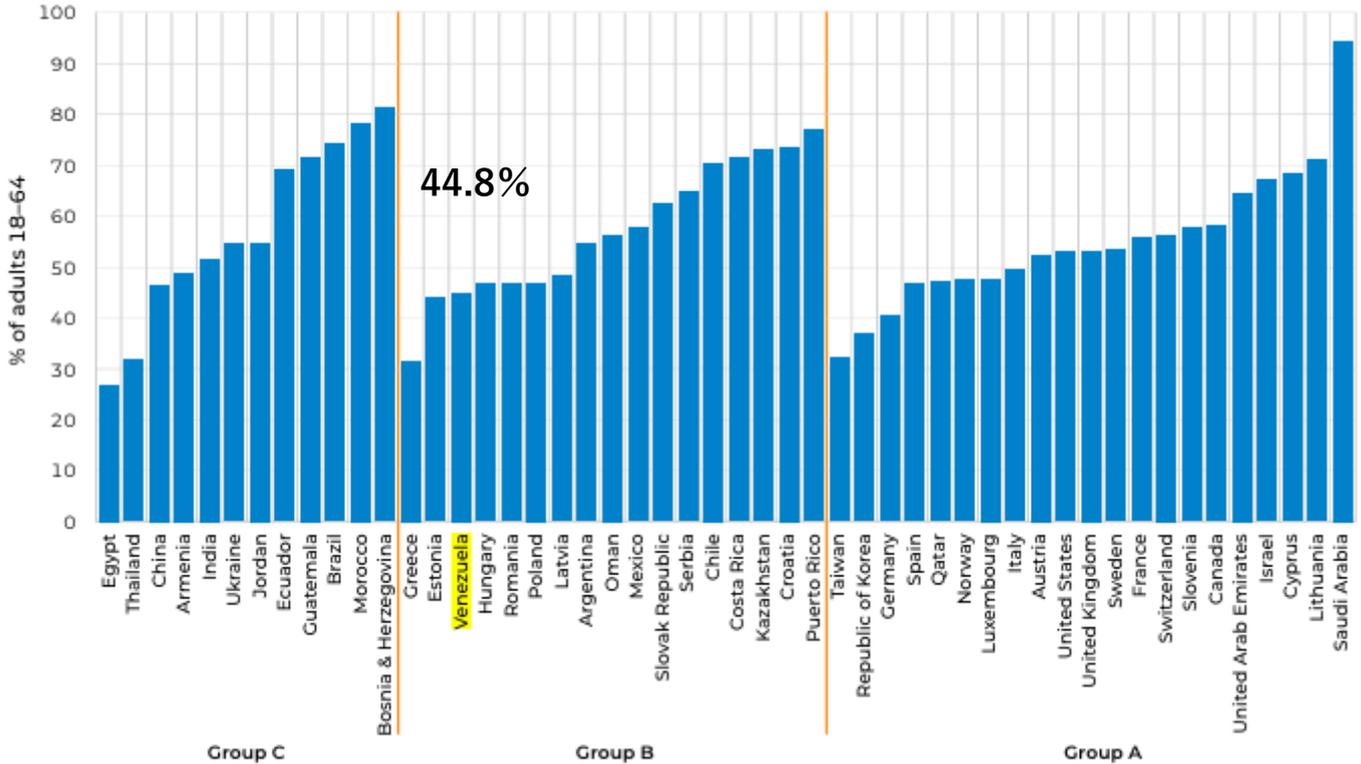
## 前年よりベネズエラ人の起業意欲が低下

「世界起業家グローバルモニター2024/25」によると、ベネズエラでの起業が減少している。

同団体によると、「過去2年で知人・友人が起業したという話を知っていますか?」という質問に対して、「知っている」と回答した割合は44.8%。「今後6カ月、自国は起業するのに良い状況にあると思いますか?」は60.4% (次ページのグラフ参照)

1年前の調査では、それぞれ62%、65.8%だったため、その割合は減少している(3ページ目のグラフ参照)。

グラフ：【2024年調査】過去2年で知人・友人が起業したという話を聞いていますか？



グラフ：【2024年調査】今後6カ月、自国は起業するのに良い状況にあると思いますか？

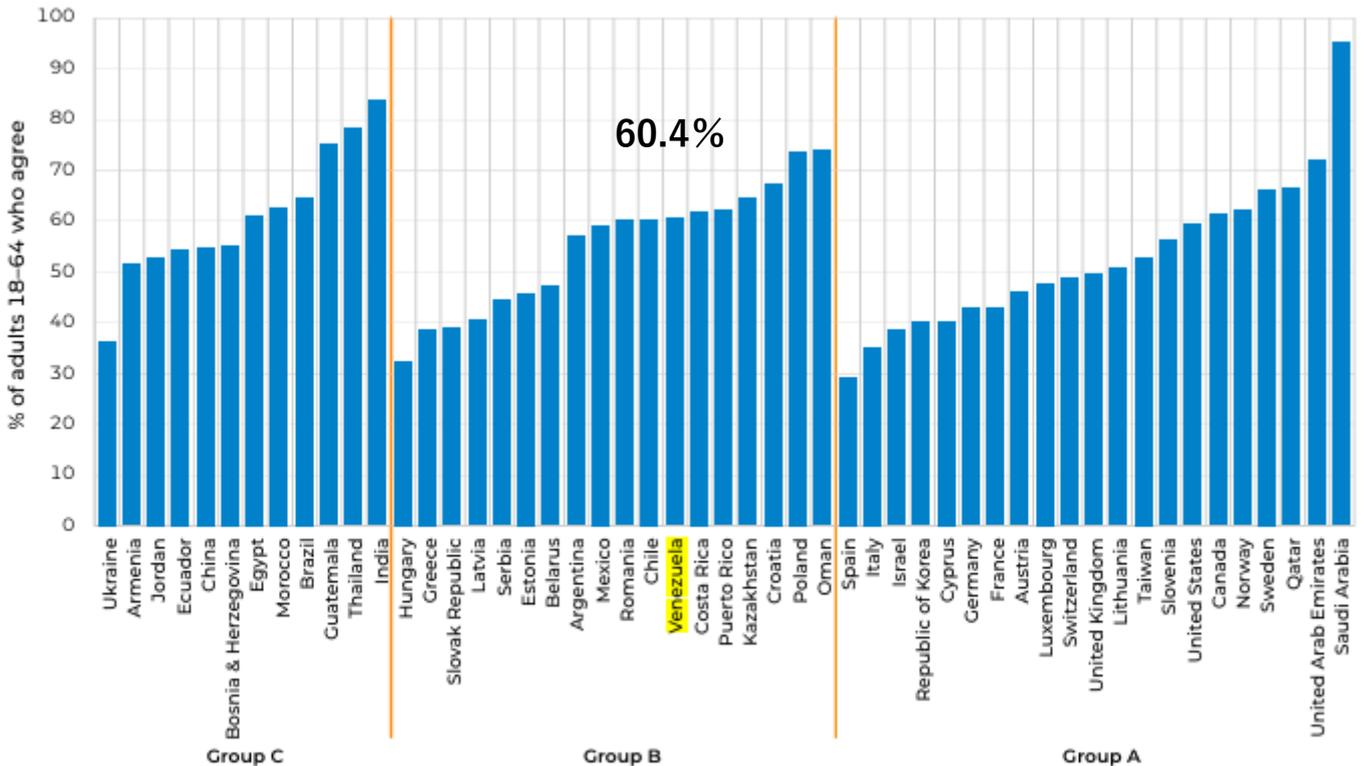
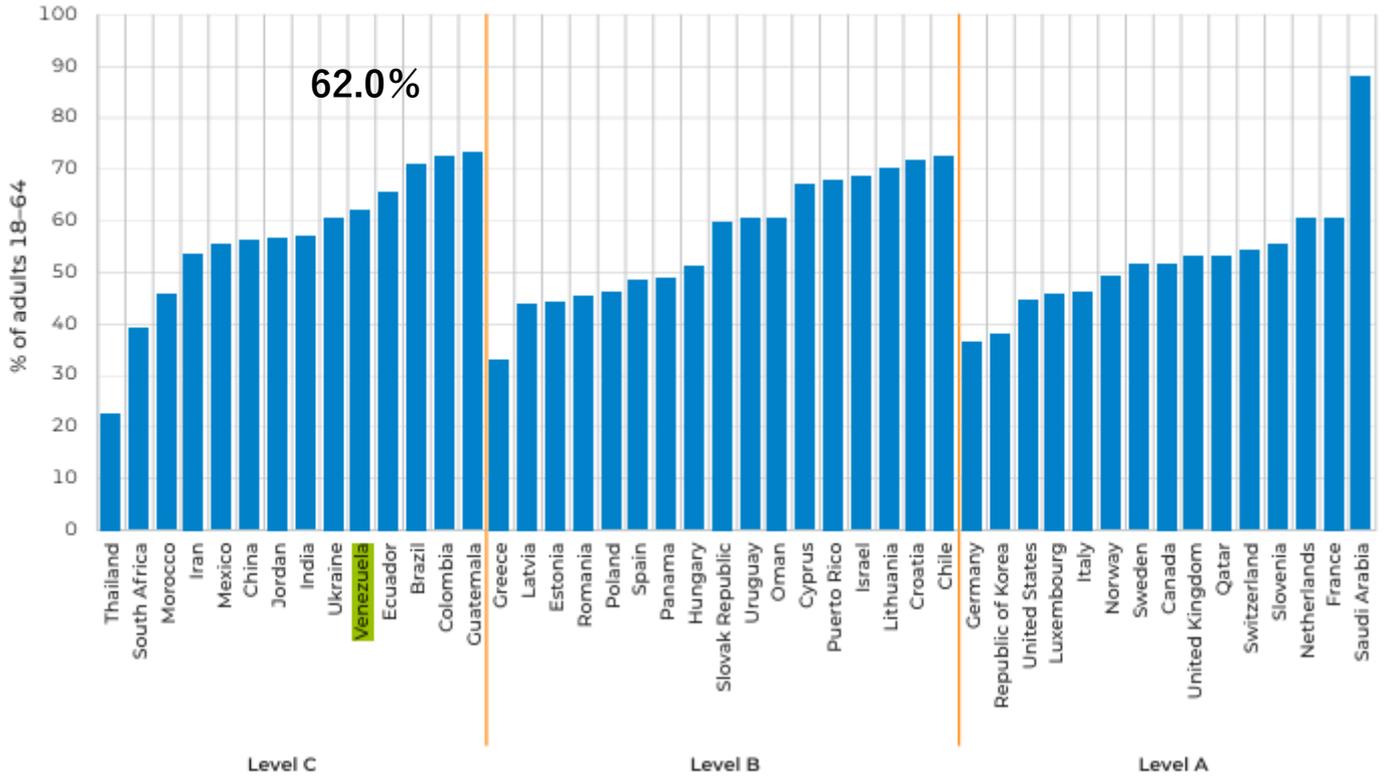
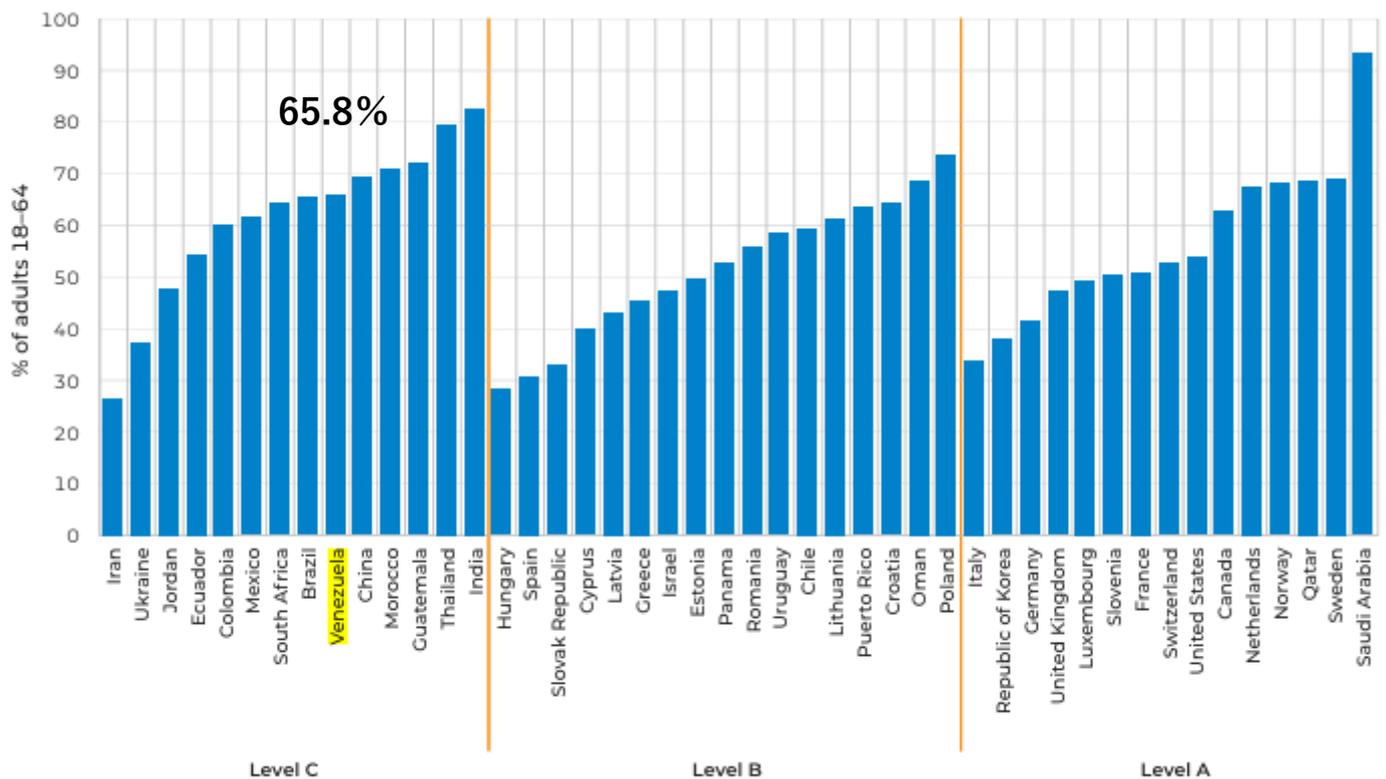


FIGURE 2.2 In the next six months, there will be good opportunities to start a business in my area (% adults agree)

グラフ：【2023年調査】過去2年で知人・友人が起業したという話を知っていますか？



グラフ：【2023年調査】今後6カ月、自国は起業するのに良い状況にあると思いますか？



**FIGURE 3.3** In the next six months, there will be good opportunities to start a business where I live (% adults agree)

Source: GEM Adult Population Survey 2023

他の質問も一様に起業意欲が低下している傾向を示唆している。

「表1：起業に関するアンケート回答」でも確認できるように全ての項目で前年調査と比べて起業意欲が低くなっていることが伺える結果となった（ブラジルの回答結果は参考までに掲載）。

特に「今後3年間で起業の予定はありますか？」の質問は、2023年調査では49.6%だったのが、24年には17.0%と大きく減少した。

なお、「あなたは起業できる知識や技術を有していますか？」の質問については、2023年、24年共に「はい」が80%を超えており、ベネズエラは調査対象53カ国中4番目とかなり高い割合になる。

## 起業の最大の理由は「生活費を稼ぐため」

「表2：あなたが起業する理由は次のうちのどれですか（複数回答可）」の調査で、ベネズエラは「生活費を稼ぐため」の回答が93.6%（2024年）であり、調査対象国の中で最も高い。

逆に「富裕層になるため」の回答は39.9%と調査対象国の中ではかなり低い。

調査する以前から予想がつく結果ではあるが、現在のベネズエラにおける起業の最大の理由は「夢や野望」よりも「生活のために稼ぐ必要がある」というやむを得ない事情が大きいことが分かる。

表1：起業に関するアンケート回答

(単位：%)

	ベネズエラ		ブラジル	
	2024年	2023年	2024年	2023年
あなたの国は起業しやすい環境だと思いますか？	44.4	45.9	46.1	43.1
あなたは起業できる知識や技術を有していますか？	82.1	84.1	67.4	65.9
失敗する恐れがあるので起業はしたくないですか？	36.2	30.3	51.5	46.9
今後3年間で起業の予定はありますか？	17.0	49.6	49.9	48.7
誰かの起業のために資金援助する意思はありますか？	1.0	-	11.0	-
一年前よりも起業が難しくなったと思いますか？	47.4	-	44.7	-

表2：あなたが起業する理由は次のうちのどれですか？（複数回答可）

	ベネズエラ		ブラジル	
	2024年	2023年	2024年	2023年
世界を変えるため	40.5	68.4	74.6	76.5
富裕層になるため	39.9	53.7	69.3	66.6
家族の伝統を維持するため	32.8	52.5	35.4	36.3
生活費を稼ぐため	93.6	91.0	73.9	74.1

## 最新技術を通じて生活の課題を解決

次にベネズエラ国内で注目を浴びている新興ビジネスについて紹介したい。

1つ目は個人向け融資サービスアプリ「Cashea」。

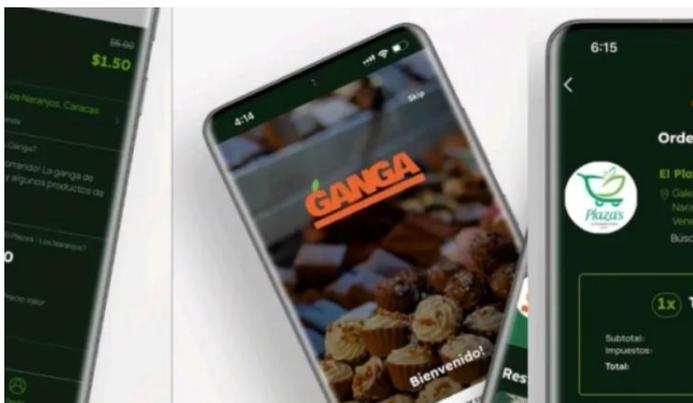
Cashea は、サービス開始から2年でベネズエラ国内において急速に利用者を拡大した。

急激な経済低迷により消費者の購買力が低下する中、携帯アプリケーションを通じて個人向けの分割払いサービスを開始し、成功を収めた。

現在は600万人がこのアプリケーションをダウンロードしており、利用者の増加率は週13%になるという。

Cashea の使用可能店舗は順調に拡大しており、最近では民間病院 (El Urológico San Román) でも使用できるようになった。今後も使用できる施設が増え、利便性の向上が期待されている。

次に紹介する新興ビジネスは、期限切れ間近の食品などを安価に販売するアプリケーション「Ganga」。



例えば、このアプリケーションを利用すれば、通常であれば20ドルするピザを4、5ドルで購入することが可能になる。

同アプリケーションでは、賞味期限は切れていないが、このままだと廃棄になってしまう可能性のある食料品を極めて安価に購入することが出来る。

「消費者にも、生産者にもメリットがあり、廃棄が減ることで環境にも優しい」というサービス。もちろん賞味期限が切れた食品は「Ganga」のプラットフォームでは販売できない。

また、「Ganga」を通じて販売されるのは食料品だけではなく、化粧品・医薬品・清掃用品なども含まれている。

「Ganga」を運営する Alberto Alfonzo 社長によると、同社のアプリケーションは6カ月前に運用が始まったが、1カ月で利用者が1000人を超え、現在は5万人を超えているという。

他の新興ビジネスとしては、「Uber Eats」や「出前館」のようなデリバリーサービス事業「Yummy」「Ridery」などが挙げられる。

これらのケースにもあるように、ベネズエラでの起業は携帯アプリケーションなど技術やテクノロジーを通じて個人の生活上の課題を解決するようなサービスが好調な印象がある。

以上